

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	523-01-02		
事務事業名		収穫祭開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	2	商工業・サービス業		款 7 商工費
	施策の方向	3	地域産業の活性化		項 1 商工費
					目 2 商工振興費
対象(誰を・何を)		市来訪者及び駒ヶ谷地域			
目的(どうしたいか)		羽曳野市の特産品であるぶどうなどの地場産品を通じて、地域産業の振興、PR及び地域の活性化を図るとともに、駒ヶ谷地区の豊かな自然環境を多くの人に発信し交流を育む。			
手段(事業内容)		収穫祭実行委員会へ助成金の交付を行うとともに、実行委員会の事務局として、実行委員会の開催、事業実施内容の調整(軽トラ市などの共同開催)などを行う。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	789	881	900
人件費	2,074	1,436	2,656
総事業費	2,863	2,317	3,556
うち市負担分	2,863	2,317	3,556

30年度決算主な内訳
【事業費】 会場設営委託費323千円 警備員委託費78千円 イベント謝礼等217千円 広報費185千円 運営費42千円 駐車場借上料38千円 【特定財源】

## 活動指標

指標名	地域出店者数	単位	者
指標の説明	ブース出店者のうち、駒ヶ谷地域の出店者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	8	8	8

参考数値

## 成果指標

指標名	イベント参加者数	単位	人
指標の説明	地域のPRを行えた人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2,000	1,000	2,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市の特産品であるぶどうを主とした、地域の魅力を存分に楽しめるイベントを開催することにより、地域の賑わいを創出し、地域産業の振興や地域の活性化に結びつく事業を展開している。また、イベントを安全に運営するために必要な設備及び人員を投入しており、今後も引き続き、市の魅力をPRできるような事業を実施していく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	531-01-01	
事務事業名		軽トラ市開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2730	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7 商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出		項	1 商工費
					目	3 観光費
対象(誰を・何を)		市民及び市外の消費者				
目的(どうしたいか)		消費者、生産者、商工業者が一体となって参画・交流を深め、地域の賑わいを図る。				
手段(事業内容)		駒ヶ谷駅西側公園を中心に、新鮮な野菜や果物、自慢の品物を軽トラックの荷台などに載せて生産者等が対面販売を行う事業を定期的に開催する。				

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	4,084	5,338	2,875
人件費	3,925	4,535	4,553
総事業費	8,009	9,873	7,428
うち市負担分	8,009	9,873	7,428

30年度決算主な内訳	
【歳出】	
需用費	1,640千円
広告料	78千円
委託料	2,986千円
報償費	235千円
使用料及び賃借料	399千円

## 活動指標

指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	年間の軽トラ市イベントの開催数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	9	9	8

参考数値	
事業実施回数	H30 9回
来場者数	H30 15,900人

## 成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	年間の軽トラ市イベントへの来場者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	7,400	15,900	20,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市内各地において軽トラ市を開催することで、市域全体における地域特産物の消費拡大とPRに努めるとともに、地域の賑わいの創出を継続して図っていく。また、出店者が主体となる運用にむけて、出店者との意見交換や来場者の声など、情報の共有に努めていく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		531-01-02			
事務事業名		七夕祭開催事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先			
				内線2760			
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7	商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出		項	1	商工費
					目	3	観光費
対象(誰を・何を)		全ての羽曳野市民及び市外の消費者					
目的(どうしたいか)		竹内街道沿道の活性化や魅力向上を図る。					
手段(事業内容)		古市駅東広場周辺において、地域特産品等を販売するブースやステージイベントを実施する。					

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	680	356	1,165
人件費	2,074	1,436	1,442
総事業費	2,754	1,792	2,607
うち市負担分	2,754	1,792	2,607

30年度決算主な内訳
【歳出】
需用費 147千円
委託料 209千円

## 活動指標

指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	事業実施回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	1	0	1

参考数値
事業実施回数
H29 1回
H30 1回
来場者数
H28 2,600人
H30 中止

## 成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	イベントへの来場者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2,600	0	3,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市域全体における地域特産物の消費拡大とPRに努めるとともに、地域の賑わいの創出を図り、竹内街道沿道の活性化や魅力向上を継続して図っていく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	531-02-01	
事務事業名		華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7 商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出		項	1 商工費
					目	3 観光費
対象(誰を・何を)		南河内の9市町村の市民及び観光客				
目的(どうしたいか)		南河内を中心とする大阪の観光魅力のPRを行うとともに、観光客の受け入れ体制の充実と観光客の誘致を促進する。				
手段(事業内容)		南河内の9市町村、大阪府、公益財団法人大阪観光局、近畿日本鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社が協力して、「観光PRキャラバン(年5回)」「みなみかわち歴史ウォーク(年3回)」「HPの更新」など、観光宣伝及び観光客誘致に関する事業を順次実施する。				

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	300	300	300
人件費	3,333	1,436	759
総事業費	3,633	1,736	1,059
うち市負担分	3,633	1,736	1,059

30年度決算主な内訳
【事業費】 負担金 300千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	イベント実施回数	単位	回
指標の説明	「観光PRキャラバン」及び「みなみかわち歴史ウォーク」		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	7	3	3

参考数値

## 成果指標

指標名	イベント参加者数	単位	人
指標の説明	イベント等への参加者数(来客)数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	4,791	2,147	2,200

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「観光PRキャラバン」「みなみかわち歴史ウォーク」を通じて、大阪府内はもとより、広く関西、そして大阪にこられているアジアなどからの観光客の皆さんにも情報発信を行い、南河内の魅力を知ってもらいたい。加えて、南河内の広域観光ルートの検討やインバウンド対応など、さらに創意工夫を重ね、南河内に多くの方に足を運んでいただけるよう取り組んでいく。ただし、元々当該事業においては、1991年のNHK大河ドラマ太平記にちなんで組織されたものであり、当初から約30年が経過していることもあり、元々の目的については見直す必要がある事業と考える。しかしながら、観光事業における市町村を超えた広域連携の組織として数少ないものであることから、当該事業を活用するよう考えていきたい。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	532-01-01	
事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 道の駅しらとりの郷・羽曳野		連絡先	内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項	1 商工費
					目	4 健康ふれあいの郷管理費
対象(誰を・何を)		施設				
目的(どうしたいか)		安全で快適に施設を利用できるように保つ。				
手段(事業内容)		環境整備(ごみ拾い、草刈、樹木管理、交通誘導、施設修繕等)、アジサイ・サクラ・園路のライトアップ、誘導員による駐車場整備、周辺道路の渋滞緩和につながる交通誘導対策(警備員の配置)				

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	17,838	34,187	31,433
人件費	20,412	17,928	18,607
総事業費	38,250	52,115	50,040
うち市負担分	24,454	36,463	34,278

30年度決算主な内訳
<b>【事業費】</b> 34,187千円 消耗品費、水道・下水道使用料、電気料金、除草手数料、樹木管理手数料、原材料費他ライトアップ業務 <b>【特定財源】</b> 電柱等使用料 31千円 駐車場使用料 2,304千円 市有財産貸付収入 11,430千円 周辺道路警備負担金1,887千円

## 活動指標

指標名	施設面積	単位	m <sup>2</sup>
指標の説明	管理している面積		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	41,585	41,585	41,585

参考数値
31年度 照明施設整備業務4,990千円 31年度予算歳入(当初)15,762千円

## 成果指標

指標名	過失事故件数	単位	件
指標の説明	施設内での事故発生件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	0	0	0

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 来場者が、安全で快適に過ごせるよう環境維持に努めるとともに、老朽化していく施設を補修及びリニューアルし、魅力ある「道の駅」を継続していく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	532-01-02	
事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 道の駅しらとりの郷・羽曳野		連絡先	内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項	1 商工費
					目	4 健康ふれあいの郷管理費
対象(誰を・何を)		来場者				
目的(どうしたいか)		羽曳野市の魅力を感じる施設づくりを目指すとともに、快適に利用できる施設整備を進める。				
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジサイやサクラに特化した名所づくりを通して来場者増加を狙う</li> <li>・BBQ広場運営</li> <li>・Wi-Fiの利用(BBQ広場周辺)</li> <li>・電気自動車急速充電器利用対象者の拡大</li> <li>・広告事業</li> </ul>				

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	449	457	494
人件費	2,836	3,168	3,248
総事業費	3,285	3,625	3,742
うち市負担分	1,937	662	1,680

30年度決算主な内訳
<b>【事業費】</b> 電気自動車急速充電器電気料金 457千円  <b>【特定財源】</b> BBQ広場利用料 624千円 急速充電器利用料 934千円(2年分) 広告設置使用料1,405千円(平成30年8月～令和2年3月末分)

## 活動指標

指標名	施設開場日	単位	日
指標の説明	年間の開場日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	312	312	313

参考数値
31年度予算歳入(当初) 2,062千円

## 成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	BBQ広場利用者及び、各店舗のレジ通過者の合計		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	904,314	838,940	838,940

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 羽曳野市の重要な発信基地として、機能の充実を図り、J A大阪南や羽曳野市商工会とともに連携を強化しより多くの来訪に努め、「道の駅」の魅力をPRしながら観光・産業の発展に寄与する。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	532-01-03		
事務事業名		観光案内所管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		市来訪者			
目的(どうしたいか)		観光・周遊しやすくしていく。			
手段(事業内容)		羽曳野市の公共交通機関の玄関口である近鉄南大阪線古市駅の東広場に、平成24年6月観光案内所を開設。観光に関する各種パンフレットの配布や多言語対応のデジタルサイネージなどにより、市の観光施設や特産品などの情報提供を行う。また、各種情報を提供することにより市のさまざまな魅力をPRし、周遊ルート案内などを行う。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	3,800	3,800	3,800
人件費	1,555	3,748	3,057
総事業費	5,355	7,548	6,857
うち市負担分	5,355	7,457	6,857

30年度決算主な内訳
【事業費】 運営要員派遣委託料3250千円
【特定財源】 ふるさと羽曳野まちづくり基金繰入金 91千円

## 活動指標

指標名	開所日数	単位	日
指標の説明	1年間に観光案内所を開所した日数(休所日：毎週木曜日及び12月29日～1月3日)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	307	231	307

参考数値

## 成果指標

指標名	来所者数	単位	人
指標の説明	1年間に観光案内所を来所した人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	3,575	3,934	7,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 令和元年7月に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されたことを受け、今後羽曳野市への来訪者が増加することが見込まれる。観光の発信拠点として、羽曳野市を訪れた人が市の魅力を感じ、また来たい、人に紹介したいと思われるような情報を提供できるよう、増加する外国人来訪者への対応なども含め、機能を強化していく必要があると思われる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	532-01-05			
事務事業名		観光農園等管理事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課			連絡先		内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち			予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流				款	7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり				項	1 商工費
							目	3 観光費
対象(誰を・何を)		来訪者						
目的(どうしたいか)		羽曳野市において栽培可能と思われる果樹を植え付け、産業振興に寄与する種類や品種を選定し、観光資源の発掘や地域の活性化等につながる事業を展開する。						
手段(事業内容)		かんきつ類、モモ、ナシ、カキなど多種異品種を栽培管理。樹木の成長に伴い収穫できた果実について、30年度は市立の幼稚園や保育園の園児に温州みかんの収穫体験やイベントでの試食提供を実施。						

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	12,803	12,814	13,223
人件費	1,333	1,890	5,879
総事業費	14,136	14,704	19,102
うち市負担分	14,136	14,704	19,102

30年度決算主な内訳
【事業費】
果樹栽培指導料 200千円
消耗品費 101千円
管理運営業務委託費 12,123千円
原材料 146千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	栽培本数	単位	本
指標の説明	果樹栽培規模		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	175	109	109

参考数値
栽培果樹内訳
ミカン類 (43) クリ (3) モモ (7) イチジク (6) スモモ (3) ピワ (2) ナシ (28) ザクロ (2) カキ (4) サクランボ (11)

## 成果指標

指標名	事業推進率	単位	%
指標の説明	栽培果樹の生育見込み達成度		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 果樹は順調に生育している。今後、観光資源としての活用が期待されるとともに、駒ヶ谷駅西側公園や育苗施設と合わせて施設運営にかかる企画や立案が必要。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		532-01-06	
事務事業名		育苗施設管理事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先 内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		市民			
目的(どうしたいか)		事業着手されていない公共用地の活用推進事業において、暫定的にビニールハウスを設置し花苗等の栽培を行ない緑化推進を図る。また、駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と合わせて一体的な観光振興にかかる施設として活用する。			
手段(事業内容)		公共施設で植付ける花苗やイベントで配布する苗および、駒ヶ谷駅西側公園等を修景する花苗の生産・育成			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	776	874	1,660
人件費	963	1,512	3,831
総事業費	1,739	2,386	5,491
うち市負担分	1,739	2,386	5,491

30年度決算主な内訳
【事業費】 花卉栽培指導料 120千円 消耗品費 78千円 原材料費 355千円 等
【特定財源】

## 活動指標

指標名	配布実施回数	単位	回
指標の説明	公共施設やイベントで配布した回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	4	4	4

参考数値
配布実績・・・公共施設(2回) イベント配布(グリーンフェスタ、収穫祭の計2回) 生産実績・・・マリーゴールド(8200)ホオズキ(50)パンジー(9000)ヒマワリ(150)ルビナス(750)ストック(750)

## 成果指標

指標名	生産量	単位	ポット
指標の説明	花苗等の栽培ポット数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	22,900	18,900	18,900

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と一体的に整備された育苗施設において、公共施設へ提供する花苗や、イベント等にて配布する苗物を生産することにより、環境美化に努めるとともに、観光促進施設としてハウスの活用策について再検討を行なう。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		532-01-07	
事務事業名		駒ヶ谷駅西側公園管理事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先 内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 8 土木費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 4 都市計画費
					目 3 公園費
対象(誰を・何を)		来園者			
目的(どうしたいか)		駒ヶ谷地区の活性化に寄与する拠点としての施設・機能の充実とともに、地域情報の発信基地としての役割構築および、地域のにぎわいを創出する公園づくりを目指す。			
手段(事業内容)		新しく顔出しパネルを設置。子ども遊具(つぶたん遊具等)やシェルター(日除け)、ベンチ等の公園施設および駐車場の維持管理。軽トラ市や収穫祭、はびきのの夕べなどイベント会場として活用。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	2,206	2,644	3,184
人件費	592	1,134	1,518
総事業費	2,798	3,778	4,702
うち市負担分	1,899	2,814	3,803

30年度決算主な内訳
【事業費】
消耗品費 247千円
電気料金 309千円
駐車場機器保守および管理運営業務 1491千円
その他水道料金、機械警備費等
【特定財源】
駐車場使用料 964千円

## 活動指標

指標名	開園日	単位	%
指標の説明	適切な管理運営達成度		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

参考数値
30年度駐車場利用台数
無料台数 2060台
有料台数 3757台
合計 5817台
31年度予算歳入(当初) 899千円

## 成果指標

指標名	事業進捗率	単位	日
指標の説明	利用者が利用できる日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	365	365	366

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 イベントのできる公園としてにぎわいと安らぎのある快適な公園を目指し、観光振興の一助となる公園づくりに努める。また、隣接する観光農園や大阪府石川河川公園との連携による駒ヶ谷駅西側公園の新たな活用方法を検討する。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	532-01-08		
<b>事務事業名</b>		道の駅しらとりの郷・羽曳野大型遊具更新事業		<b>事務の種類</b>	自治事務(任意のもの)
<b>担当部署名</b>		生活環境部 道の駅しらとりの郷・羽曳野		<b>連絡先</b>	内線2742
総合基本計画	<b>施策目標</b>	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	<b>予算科目</b>	<b>会計</b> 1 一般会計
	<b>施策</b>	3	観光振興・都市間交流		<b>款</b> 7 商工費
	<b>施策の方向</b>	2	観光振興を推進する仕組みづくり		<b>項</b> 1 商工費
					<b>目</b> 4 健康ふれあいの郷管理費
<b>対象(誰を・何を)</b>		来場者(幼児~小学生)			
<b>目的(どうしたいか)</b>		道の駅オープン以来使用した木製遊具が、腐朽により安全に使用することができなくなったため、遊具をリニューアルし、B B Q広場や芝生広場などと併せて家族交流および地域活動の場として活発に利用され、賑わいのあるふれあいの場を提供する。			
<b>手段(事業内容)</b>		安全で安心して遊ぶことができる複合遊具を整備し、幅広い年齢層の子どもたちが利用できる空間を創出する。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	3,725	18,514	0
人件費	370	756	0
総事業費	4,095	19,270	0
うち市負担分	4,095	10,370	0

30年度決算主な内訳
【事業費】 遊具整備工事費 18,514千円
【特定財源】 コミュニティ助成金 8,900千円

## 活動指標

指標名	設置の施工	単位	%
指標の説明	遊具更新に向けた各年度の達成度		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	

参考数値

## 成果指標

指標名	開場日	単位	日
指標の説明	ちびっ子広場を利用できる日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	365	214	

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 安全に利用できるように新しく遊具を整備することで、多くの子どもたちが来場し、家族交流および地域活動の場として活発に利用され、他の施設と併せて賑わいのある共生の場を提供し発展することが期待できる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		532-01-09	
事務事業名		観光案内所再整備事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先 内線2730	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		市来訪者			
目的(どうしたいか)		世界文化遺産登録を目指す古市古墳群を有する羽曳野市への玄関口である古市駅の東広場にあり、日本遺産にも認定された竹内街道沿いに位置する観光案内所において、国内外から訪れる旅人を温かく迎える。			
手段(事業内容)		古市駅東広場の景観に適した改装とインフォメーション施設として、観光客が認識しやすく、また気軽に立ち寄れる空間として再整備を行う。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	8,400	0
人件費	0	907	0
総事業費	0	9,307	0
うち市負担分	0	907	0

30年度決算主な内訳
【事業費】 古市駅東広場整備業務委託料 8,400千円
【特定財源】 ふるさと羽曳野まちづくり基金繰入金 8,400千円

## 活動指標

指標名	工事進捗率	単位	%
指標の説明	工事を行った進捗率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
		100	

参考数値
令和元年度来所者数 4月：665 5月：510 6月：1072 令和元年度見込9,000 (4~6月実績より算出)

## 成果指標

指標名	来所者数	単位	人
指標の説明	再整備に伴った来所者数の変化。		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	3,575	3,934	9,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 観光案内所は竹内街道に隣接しており、敷地内の広場をコミュニティスペースとしてご利用いただくとともに、観光案内所におきましてはインフォメーション施設として、羽曳野にお越しいただいた方を総合的に迎え入れる施設として期待できる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	532-02-01		
事務事業名		観光協会運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		全ての羽曳野市民及び観光客			
目的(どうしたいか)		羽曳野市の観光事業の振興をはかると共に羽曳野市の地域経済の振興及び文化の発展に寄与する。			
手段(事業内容)		観光協会ホームページの運用農特産物及び友好都市特産物販売・振興事業はびきの「軽トラ市」事業への協力。事務局として関与。協会事業、運営を行う。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	12,423	13,604	8,727
総事業費	12,423	13,604	8,727
うち市負担分	12,423	13,604	8,727

30年度決算主な内訳
補助金額なし

## 活動指標

指標名	ホームペーリアクセス数	単位	件
指標の説明	観光協会ホームページの運用		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	65,586	60,930	62,000

参考数値
ホームページアクセス数 H29 65,586件 H30 60,930件
会員数 H29 108 H30 108

## 成果指標

指標名	会員数	単位	人
指標の説明	観光協会登録会員数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	108	108	110

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 地域特産物や地域文化を活用し、わが町「羽曳野市」の魅力を多くの方に発信し、市民の方には本市の良いところを再確認・再発見していただけるよう、また、市外の方には「訪れたくなる」「また来たくなる」羽曳野市となるよう、行政及び各種団体と共にPR活動など連携を行って、必要となる事業に取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	532-02-02	
事務事業名		ガーデン倶楽部運営事務事業			事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課			連絡先 内線2742	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち			
	施策	3	観光振興・都市間交流			
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり			
	対象(誰を・何を)	市民				
目的(どうしたいか)		駒ヶ谷駅西側公園及び関連施設が、地域のふれあい交流拠点として、より魅力を持ち地域の親しまれる空間となるよう、住民ボランティアにより植物の育成、管理や環境美化に取り組み、住民の観光意識を高めるとともに人的交流を推進する。				
手段(事業内容)		公募により参加者を募り、有償にて活動。駒ヶ谷駅西側公園・観光農園・育苗施設・駒ヶ谷駅駐車場・古市花ふれあい交流広場及び道の駅しらとりの郷羽曳野において、播種作業(種まき)や育成、花壇植付け、除草及び灌水作業等の景観づくりを行う。				

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	611	573	761
人件費	963	1,134	1,518
総事業費	1,574	1,707	2,279
うち市負担分	1,574	1,707	2,279

30年度決算主な内訳
【事業費】 行政協力者謝礼 473千円 消耗品費 45千円 原材料費 55千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	会員数	単位	人
指標の説明	ガーデン倶楽部に関心を持って応募した市民		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	69	70	69

参考数値
成果指標31年度目標は、年間活動予定日/1~3回実施した参加状況より算出。

## 成果指標

指標名	活動日数	単位	日/人
指標の説明	実施できた日数および平均参加人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	14日/35人	19日/40人	21日/43人

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 園芸作業に慣れている会員が多く当事業への関心も高い。活動日を増やすことにより管理費の削減につながるが、現在有償ボランティアとして参加してもらっているため、予算額により活動日数が決まる(制限される)。会員間では無償にて活動日を増やしてほしいとの声もある。また、無償にすることにより、支出を抑制できるだけでなく事務の軽減につながる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	532-02-03		
事務事業名		観光ボランティアガイド育成事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		市民等(市外居住者を含む)			
目的(どうしたいか)		羽曳野市の歴史と文化に関心を持ち、観光客などへの観光ガイドを主とするボランティア活動への意欲を有し、観光ボランティアガイド活動に積極的に参加する市民等(市外居住者を含む)の養成をする。			
手段(事業内容)		ガイドになるための座学や現地学習の体験を通して、羽曳野市の歴史や文化に理解と愛着を深めてもらい、羽曳野市の魅力をたくさんの方に伝えていただく。(ガイド養成講座等の開催)			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	300
人件費	444	983	1,138
総事業費	444	983	1,438
うち市負担分	444	983	1,438

30年度決算主な内訳
【事業費】

## 活動指標

指標名	養成講座等	単位	回
指標の説明	養成講座等実施回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	0	0	6

参考数値

## 成果指標

指標名	観光ボランティアガイド養成人数	単位	人
指標の説明	観光ボランティアガイド登録人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	0	21	30

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 観光ボランティアのガイド活動が、地域の活性化や交流に果たす役割の重要性はますます高まってきており、また世界文化遺産登録に向けた取り組みの中で、来訪者に本市の魅力をより知っていただくために、観光ボランティアガイドスタッフの養成が必要になってくる。市の魅力の発信に関わってもらえる観光ボランティアの掘り起こし、ガイドを養成するための基礎データの収集と組織づくりに取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	542-02-01		
事務事業名		ご当地キャラクター活用事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	内線2760
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	シティプロモーション		款 7 商工費
	施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信		項 1 商工費
					目 3 観光費
対象(誰を・何を)		市民等			
目的(どうしたいか)		地域の特産品、観光地、イベントなどをPRする目的で、活発に活動を行い、地元愛を持って元気や笑顔溢れる地元活性化を達成する。			
手段(事業内容)		市主催のイベントや地域の催しなどへの参加、啓発ポスター等での画像使用など、地域のPR・活性化に貢献する。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	76	105	104
人件費	1,777	302	531
総事業費	1,853	407	635
うち市負担分	1,853	408	635

30年度決算主な内訳
【事業費】
クリーニング代 99千円
修繕費 6千円

## 活動指標

指標名	イベント等参加	単位	回
指標の説明	イベント等出演回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	39	40	42

参考数値

## 成果指標

指標名	PR効果	単位	回
指標の説明	PRできた回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	39	40	42

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 羽曳野市の名所・特産品のPRをしているキャラクターである「つぶたん」は、近年の活躍により、地域に一体感が生まれ、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に受け入れられるようになっている。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		542-03-03	
事務事業名		ふるさと納税事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先 内線2731	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	シティプロモーション		款 2 総務費
	施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		「羽曳野市を応援したい」など、市に関心のある方			
目的(どうしたいか)		羽曳野市に関心のある方からの寄附に対し、市の特産品を謝礼品として送付することにより、市のPR及び地域の活性化・市内事業者の活性化を図る。また、寄附金の活用により市施策の充実を図る。			
手段(事業内容)		ふるさと納税に精通した事業者に業務委託することにより、寄附金の受領や地元事業者との調整・謝礼品の発送などの一連の作業をスムーズに行う。また、市のホームページやふるさと納税専用サイトの活用などにより、ふるさと納税に関する情報を定期的に発信・提供する。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	6,558	9,077	10,628
人件費	3,333	3,477	3,795
総事業費	9,891	12,554	14,423
うち市負担分	9,891	12,554	14,423

30年度決算主な内訳
<b>【事業費】</b> 返礼品代：720千円、クレジットカード 使用料：144千円、委託料：8,095千円、サービス利用料69千円、被災地寄附手数料4千円、被災地寄附45千円 <b>【特定財源】</b>

## 活動指標

指標名	情報発信数	単位	回
指標の説明	1年間にふるさと納税に関する情報を紙・電子媒体などで発信した回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	11	11	11

参考数値

## 成果指標

指標名	寄附額	単位	千円
指標の説明	1年間にふるさと納税として寄附された金額		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	15,067	18,776	22,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 ふるさと納税謝礼品制度の導入により、他市在住者の羽曳野市への関心度合いや、市の魅力をどのようにPRすることが必要であるかを実感しつつある。現在、ふるさと納税制度が、他市在住者が羽曳野市を知る効果的なひとつのきっかけとなっているとも考えられるため、ふるさと納税制度を通じて、市のPRを他の事業にも活用できるように進めていくことが大事であると思われる。